

篠 ま 地 第 6 4 9 号

平成 2 0 年 1 0 月 1 7 日

国土交通省道路局長 様

篠山市長 酒井隆典



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平素は、篠山市行政に対しまして格別のご指導、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 2 0 年 9 月 1 9 日付け国道企第 3 7 号にて依頼のありましたみだしの件につき、別紙様式の内容にて回答しますので、よろしくご検討のほどをお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

兵庫県 篠山市

これまでの道路行政は機能重視が基本にあり、社会的弱者に配慮したユニバーサルデザインや、地域の特性を活かした個性豊かな道路造りが少なかったと思われる。

ユニバーサルデザインについては、セミフラットの歩道や点字ブロックなどにて対応しているが、根本的な改革を進めるためには社会的弱者の目線に立ち、意見を聴きながら進めるべきである。

例えば、段差解消はスロープにて行っているが、さらにユニバーサルデザイン化を進めるためには、昇降機などの動力を使った道路の設置も考えられる。

また、地域の特性に関しては、〇〇街道と愛称のついた道路が各地に存在するが、それらについては看板や路面に明示したり、カラー舗装を施したりと、道路そのものに個性を持たせるには至っていないと思われる。

電線の地中化や軒先の美装化の推進に加え、その地方独自の祭事にあわせた、その地方独自の施設を道路上に設置することなどが望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

兵庫県 篠山市

○現状

市全体の財政状況が逼迫する中において、道路事業の予算は縮小され、道路改良事業の予算化は難しく、道路修繕などの補修事業が主になっている。

○課題

道路修繕事業は市単独にて予算化しており、予算は縮減傾向にあることから、住民の要望全てに対応できておらず、応急措置を施したうえにて、何年も事業実施を待ってもらっている。

道路改良から期間が過ぎた道路であっても、修繕の事業量が小さい場合は、補助対象とならないことが課題と考える。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

兵庫県 篠山市

道路行政は、全国レベルでの基準により、どの地方であっても一定レベル以上の道路は確保できていると思われる。

しかし、どの地方であっても同じような道路であり、無個性化が進んだとの見解もある。

そのような中で、その地方の住民が愛着を持ち、その地方独自の個性が発揮できるような道路改良が望まれる。

これまでの道路行政では、住民の意見は路線の選択や幅員構成など、機能的な点での反映はあったが、道路そのものに愛着を持てるようなアイデアの採用は少なかったと思われる。

不特定多数の利用が原則ではあるが、その地方の住民の意見を反映した、地域密着型の改良が目指すべき将来像であると考えられる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

兵庫県 篠山市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	都市局の事業ではあるが、伝統的建造物群保存地区において、道路の美装化と電線類の地中化を行った。 また、同地区内では、建物の修景助成なども行っている。	地域が美しく整備されることにより、地域の住民の地域への愛着が深くなった。 それにより、地域独自の修景事業も盛んになり、コミュニティの向上が図られている。 更に、観光客も増加し、地域活力の向上がみられる。	